

Nara Women's University

中学2年 クラブと学習に関するアンケート調査結果

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学文学部附属中・高等学校 公開日: 2010-11-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 屋鋪, 増弘 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10935/2299

中学2年 クラブと学習に関するアンケート調査結果

屋 舗 増 弘

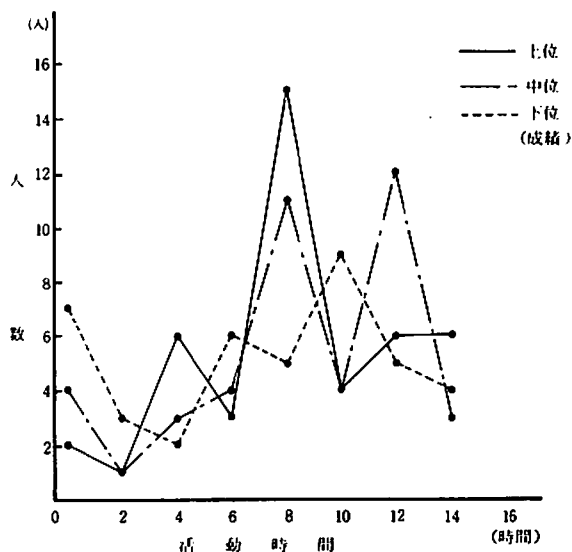
1. アンケート調査の目的

PTAの学級懇談会などで、「生徒がクラブにばかり一生懸命で、勉強をちっともしない」とよく耳にする。それで、果たしてクラブ活動が勉強の障害になっているのかどうか明らかにするため、アンケートによりクラブの活動状態と家庭での学習状態が学習成績にそれぞれどのように関連しているかを調査した。アンケートは、クラブ活動と家庭学習について行い、中2三クラス（男子64名、女子68名）の生徒を学習成績上位の者（44名）、中位の者（44名）、下位の者（43名）のグループに分け、それぞれのグループについて集計した。以下は、その集計結果である。

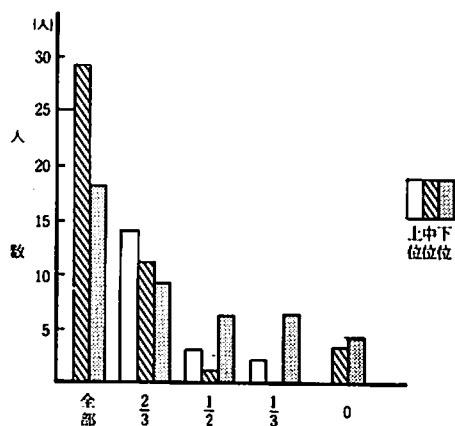
2. アンケート集計結果

a. クラブ活動について

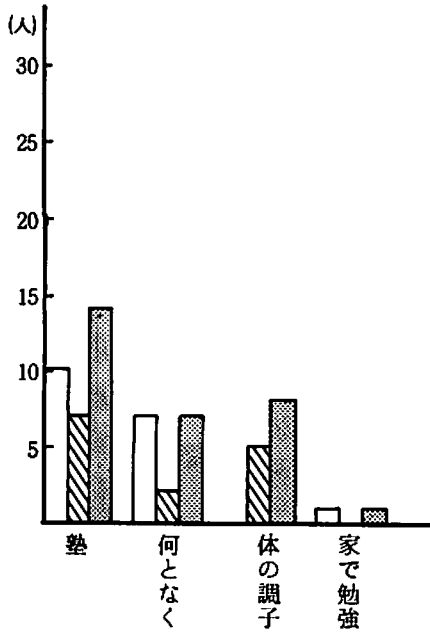
① クラブの活動時間（一週間合計）



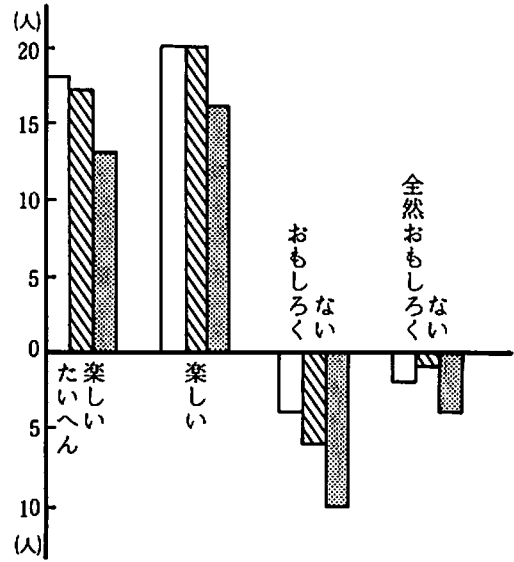
② クラブの活動日のうち、実際に参加するのは、全体のどれくらいか。



③ 活動日に参加しない理由

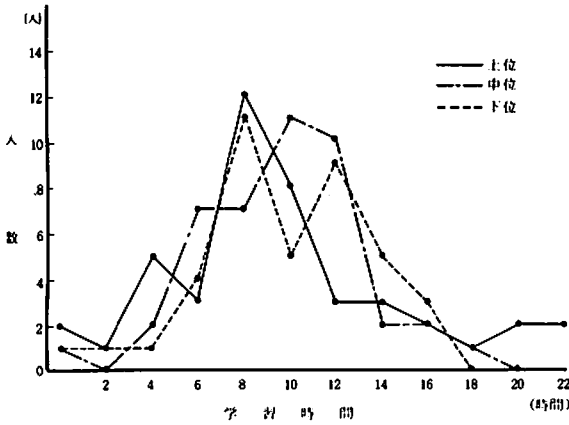


④ クラブは楽しいか

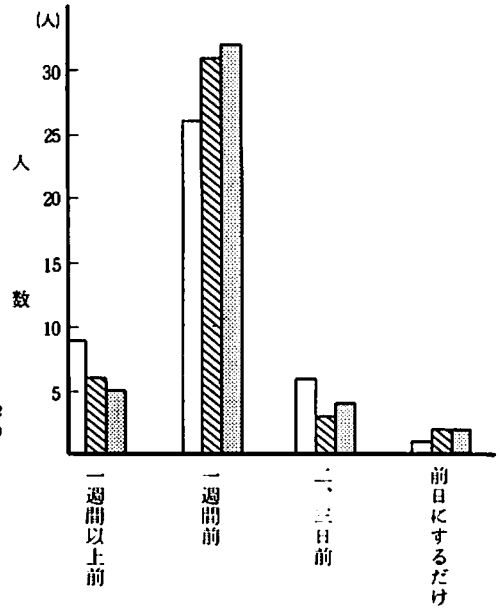


b. 家庭学習について

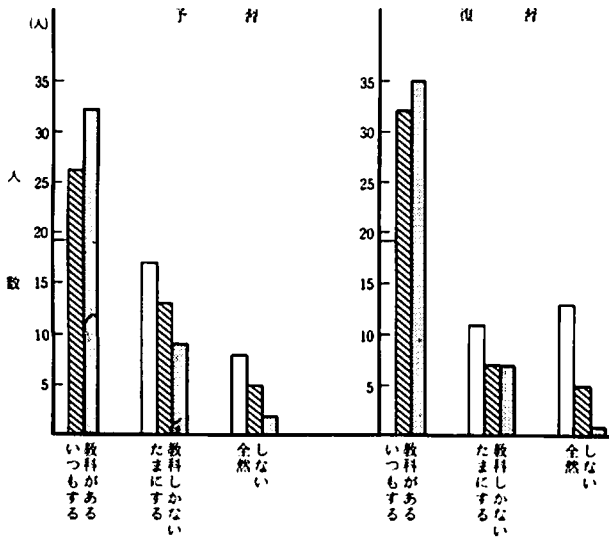
① 家庭での学習時間 (5日間合計)



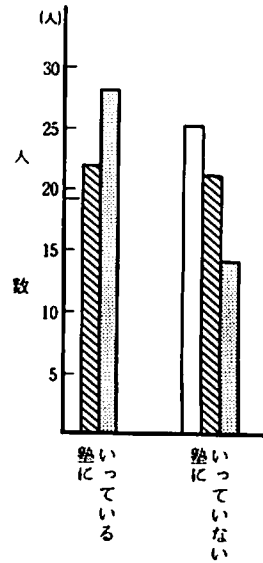
② テスト前の勉強はどれくらい前からしているか。



③ 予習と復習について



④ 塾にしているか。



3. わかったことと問題点

クラブの活動状態をみると、成績上位の者も下位の者もあまり差がみられないが、クラブ活動をよくやっている者の中では下位の者より上位の者が多い。逆に、クラブ活動をあまりやっていない者の中では上位の者より下位の者が多い。また、クラブ活動を楽しんでいる者の中では下位の者より上位の者が多く、おもしろくないと感じている者の中ではその関係が逆転している。

次に、家庭での学習状態をみると、学習時間では上位の者も下位の者もあまり差がみられないが、勉強時間の極端に長い者や短い者に上位の者が多くなっている。予習や復習については、それらをよくやっている者の中では上位の者より下位の者が多く、逆にあまりやっていない者の中では下位の者より上位の者が多いという皮肉な結果がでている。テスト前の勉強については、はっきりした傾向はみられなかったが、やはり一週間以上前から勉強している者の中では上位の者が多かった。学習塾に通っている者の中では、下位の者が上位の者より多く、クラブの活動に参加しない理由として塾を挙げている者が下位者に多いということもうなずける。

以上のことから、クラブ活動が勉強の障害になっているのではなく、むしろ勉強の励みになっているということがわかる。ただ問題なのは、塾に通い予習復習を毎日やっながら成績不振という者がかなりいるという点で、これらの者はクラブ活動に対し消極的であることから考えて、成績不振の原因がクラブ活動にあるとはいえない。その原因としては、予習、復習の質やそのやり方、授業中の集中の度合などが考えられ、それらの者に対する指導が今後の課題である。